
たとえ欠けた月だとしても

四季 ワタリ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たとえ欠けた月だとしても

【Zコード】

N1218F

【作者名】

四季 ワタリ

【あらすじ】

全員が揃つて満ちていても、誰かが居なくなつて欠けていたとしても、月は月だと思う。

雲一つ無い夜の空

そんな匂い満匂だと

私は少し嬉しくなります

だつて手を伸ばすと

お匂様に届きそうだから

お匂に入りの滑り台に乗つて

精一杯に手を伸ばす

もつしして匂をひだなご

やつぱり私には無理みたい

私は少し悲しくなります

頑張つても出来ないことがあるんだな、つて……

病院の真つ白いベッド

私は少し寂しくなります

独りぼっちになつて

と、私を置いてママの病室へと戻つて行きます

『大丈夫だよ、ちょっとここで待つてね』

私は心配になつたけど、パパは

咳き込んでいました

ママは苦しそうに

でも私が病室を出ると

ママは本当に喜んでくれました

控え目に頬擦りすると

その温かい体に抱き付き

優しい声が返つてくるから

だって私が話しかけると

横たわるママが笑顔だと

私は少し嬉しくなります

そんな時は田を隠つて

神様にお祈りをします

『早くママが元気になつますよ』って……

お気に入りの滑り台を降りると

仕事帰りのパパが

優しく微笑みながら待つてくれていました

きっと疲れているはずなのに

私の前ではいつも笑っています

『遅くなつてゴメンね』とパパは言つます

他のお友達は随分前に

ママたちが迎えに来て帰っていました

私は少し羨しく思います

『私もママが迎えに来てくれたら……』

でもパパには言いません

その代わりに笑顔で

『迎えに来てくれてありがとう』って伝えます

『滑り台に乗つて、お月様を掴もうと思つたけど無理だったの』

私は今日の出来事を教えます

私の冷たい小さな手を

パパは温かい大きな手で

優しく包んでくれています

『なんで頑張つたのに、掴めないのかな……？』

私はパパを見上げました

するとパパは『よしつ』と言いながら

私の脇を抱えると

自分の肩へと乗せてくれました

『じゃあ今度はパパと一緒に掘んでみようか』

顔を覗くとパパは少し泣きながら笑っていました

私は少し嬉しくなりました

だってパパと一緒にだったら

これからも頑張つていけそっだから……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1218f/>

たとえ欠けた月だとしても

2010年12月28日15時45分発行